

秋色満載 日黒自然教育園を訪ねて

12月5日(日)、東京都目黒区の自然教育園を散策してきました。

モミジの紅葉、イチョウの黄葉、千両・万両の赤い実など、とてもきれいでした。松、クヌギなど木々もたくさん。2時間半くらい、ゆっくり歩きました。すいていて、あたたかい日でした。自然教育園の隣には庭園美術館があります。<行き方>

○新浦安または舞浜(京葉線)→新木場(東京メトロ有楽町線)→永田町(東京メトロ南北線)→白金台

○JR 目黒駅からも行けます。

※帰りは東京駅から舞浜駅までバスでゆったり戻りました。

<入園料>

自然教育園 (03-3441-7176) 300円 65才以上無料
庭園美術館 (03-3443-0201) 200円

ホリデーパスの会 真鍋 ☎047-352-7735
mail: kmanabe@jcom.home.ne.jp

【編集後記】

今、沖縄は。 ふるさと、うるまは。



11月上旬、早朝から夜10過ぎまで2~3機編隊でヘリが飛んでいるのをよく目にした。なぜなんだろう?と思った。友人の情報に拠ると、私の癒しの場所・浜比嘉島から3キロの無人島の浮き原島訓練場で「離島統合防災訓」をしていた。離島の大規模災害に対応を想定したという名目のもと、実際は戦闘を想定した訓練が行われていたのだ。訓練後自衛隊はアメリカ軍と連携を強化して行動の頻度向上を図りたいとしている。

そして基地があるゆえの災害は、pfas(有機フッ素化合物)による水汚染も大きな問題に。11月26日、私はうるま市島ぐるみ会議主催の汚染地視察に参加した。嘉手納町(うぶがわ)ではこんこんと水が湧き出していた。由来を記した看板には「こちらの湧き水は飲めません」とステッカーが貼られていた。生活に欠かせない命の水までもが米軍の基地の被害に!

うるま市でも陸軍油蓄タンクから今年6月にpfasを含む消火用水が流失する事故が起こった。事故直後、米軍は安全宣言を行っていた。ところが県の分析結果では8万ng/L、国の暫定指針値50ng/Lの1600倍!の汚染だったことが明らかに。県の検査結果は7月30日に出していたのに、公表を阻んだのが米側。

12月5日、殺人的数値を半年も隠ぺいした米軍への抗議集会に参加した。「蓄積されると胎児や乳児の発達障害などを引き起こす毒物はいらぬ! 県民・地域住民の生活を守ろう」と団結を固めました。(うるま市在住:T.I)

🍎三浦綾子をたどった文学の旅🍎

十月の北海道は木々の葉も色づき、気持ちの良い秋を迎えておりました。この度は三浦綾子の文学にふれる旅です。初日は旭川を訪ねました。旭川は綾子が生まれ、作家生活を続けた土地、代表作『氷点』の舞台でもある街です。『氷点』は1964年(昭和34年)朝日新聞社が1千万円懸賞小説公募で入選した作品です。「汝の敵を愛せよ」(マタイ伝5章ルカ伝6章)「原罪」という問題がテーマです。綾子作品にはキリスト者としてこのテーマが作品に貫かれています。

旭川には生家をはじめ、新婚時代の住居、キリスト者として通っていた旭川六条教会、三浦綾子記念文学館等、関連のある場所がたくさんあります。

2日目の『塩狩峠』は実在の人物が描かれた小説で主人公のモデル長野政雄の顕彰碑があります。列車事故を自分の命と引きかえに多くの乗客の命を救った実話です。この長野政雄氏もキリスト者です。



この夜歌志内のホテルで最後の長編小説『銃口』の学習会が開かれました。北海道綴り方教育連名事件を取り上げ、昭和15年11月~16年4月に日常生活をありのまま書く綴り方教育に取り組んでいた道内教員らが「貧困などの課題を与えて児童に資本主義の矛盾を自覚させ階級意識を醸成した」などとして逮捕された弾圧事件をテーマとして「教え子を再び戦場に送るな」というスローガンを生み出すこととなる作品です。

3日目は歌志内です。昭和14年綾子17才、旭川高等女学校を卒業して、現在の歌志内小学校に代用教員赴任。その体験は『泥流地帯』『銃口』にも書かれています。

4日目、上富良野は十勝岳爆発遭難記念碑、上富良野開拓記念館、『泥流地帯』文学碑等見学しました。『泥流地帯』は近く映画化の計画があるとのこと、映画化を知らせる旗がたくさん立っていました。

今回は三浦綾子の代表的作品を訪ねた旅でしたが、作家の「こころ」により深く触れることができ、とても内容のある旅でした。(高洲在住:K.A)

~浦安に保健所を!~ 署名のご協力をお願いします

浦安には保健所がなく、市川の本八幡まで行かなければなりません。30年前は全国に850あった保健所が半分近くに減らされ、病原微生物検査等の業務も縮小されました。コロナで改めて保健所の大切さが見直されています。市民の声で保健所を!



みせ麻里市議議会報告



右の写真は12月3日金曜おかえりなさい宣伝です。浅野心み子党千葉県副委員長(衆議院選挙5区から6区候補に変更)と選挙のお礼と結果を伝え、新自由主義の政治から命とくらしを守り、憲法九条を守り平和な日本を子どもたちへと訴えました。

オスプレイ木更津基地から千葉県の空を飛んでいます。浦安には駐屯地の頻繁な訓練から逃れるために転居された方もいます。11月の党県委員会の要請行動に参加。訓練内容の公表はもちろん、飛ばない・配備撤回が最大限の安心安全の担保です!

武器見本市DSEI Japan 来年1月26日~28日開催が延期されました。でも、中止ではありません。千葉県は県の施設である幕張メッセを武器見本市に貸さないよう決断を求めます!

子育て給付金国の子育て世帯への給付金について、市民から「なぜ子育て世帯のみ?なぜクーポン?」と怒りのご意見が寄せられています。浦安市の0~18歳までの対象者は2万1541人、1人5万円支給の事務費に765万円かかります。支給するならクーポンではなく、10万円一括で支給すると事務費も多くなりません。困窮者への支援急務です!

返済のいない奨学金12月議会に5000円アップの条例案が出されましたが、成績要件が5段階評価平均3⇒3.8以上、成績優秀者は3.8⇒4.5以上に上がる予定と6日の会派代表総括質疑でわかりました。学生・保護者支援の強化に逆行です!

ここが危ない!自民党改憲草案

自民党改憲草案で「思想の自由」はどうなる?
思想・良心の自由を定めた第19条は...

現行憲法→思想及び良心の自由はこれを侵してはならない

自民党案→思想及び良心の自由は、保障する
※追加条項: 第19条の2

何人も、個人に関する情報を不当に取得し、保有し、又は利用してはならない

★「保障する」は保障しないことを明示するため

「侵してはならない」を「保障する」に変えた理由は、額面通り保障するのではなく、逆に例外として自由を「侵す(=保障しない)」という意味合いを持たせるための変更です。「侵してはならない」という現行憲法の規定を180度変質させてしまうこととなります。

★追加条項で国民の知る権利も取材の自由も奪う

「何人も」「不当に」の言葉に注目して下さい。あたかも「プライバシー権」を守るかのごとき装いですが、「不当な取得」なのかどうかは、時の政府の判断にゆだねられてしまうことに。ひとたび「不当」とされれば、取材の自由も、その取材をもとにした報道の自由も、国民の知る権利も奪われてしまいます。